

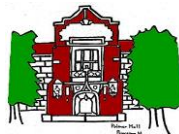
# な か ま

プリンストン日本語学校

平成27年度

No.04

平成27年 5月 3日



## たのしみは...

授業参観・懇談会へのご参加、ありがとうございました。本日は、後半のクラスで実施されます。

先週の懇談会では、担任から学級経営の方針や、学習の約束事などが示され、保護者の皆さんにも担任と協働して子どもたちを支援していく方向性をご理解いただけたことと思います。私がお邪魔したクラスでは、「落ち着きがなくてすみません」という保護者の声に、「今の時期はみんなそうですよ」と担任が引き受けたり、ややもすると、子どもたちの足りない面に目が行きがちなところを、「お土産ひとつ、お持ち帰りください」とプリントを配っていたところもありました。いかがでしたか、子どもたちと笑顔で話せるお土産をひとつ、お持ち帰りいただけましたか？

低学年のクラスでは、クラスの決まりや読むときの約束が掲示されています。学習習慣、学習態度、学習法などがよければ、学業成績もよくなることはよく知られていることです。また、低学年についた学習習慣は、高学年まで続くことも示されています。よい学習習慣を低学年につけることが大事だといわれており、近年学び方の学習が強調されるのもこのためです。

話を「聞く」ということを大切に話された先生もいましたが、私も日本で勤務していた時に、校長室前と各教室にこんな掲示をしたことがあります。

Listen and Silent are made from same letters.

(国際派でもアメリカ通でもない田舎教師ゆえ、誤りがあればご容赦を)

耳についてはこんな話も読んだ記憶があります。「自分が話すのは大事なことだが、それよりも人の話を聞くというのはもっと大事なことだよ。その証拠に口は一つしかないのに耳は二つあるだろう。」

懇談会の時間、3年生の自習をのぞいてみると、皆静かに落ち着いた態度で課題に取り組んでいた姿がとても好ましく、印象的でした。

今回の授業参観・懇談会を機に、子どもたちを支援する大人たちの絆を、より太くより強くしていただければ幸いです。そして、その子その子にふさわしい花を、咲かせてあげましょう。



たのしみは 朝おきいでて 昨日まで  
無かりし花の 咲ける見る時  
(橘曙覧:『独楽吟』より)

## ○「二重国籍」に関する説明会

在NY総領事館による「二重国籍」に関する説明会が5月17日14:00より304教室で実施されます。青柳領事部長様が来校され、お話しくださいます。なお、この説明会ではビデオによる記録を取りますので、ご了解ください。

## 5月の行事予定表

- 5月 3日 授業参観、懇談会
- 5月10日 写真撮影
- 5月17日 二重国籍に関する説明会  
(在ニューヨーク総領事館青柳領事部長様)
- 5月31日 幼稚部親子ピクニック  
運動会係リーダーと教員打合せ(16:25~)

## ぼくは悪くない! (授業風景より)

約束を破ってゲームをしていたことを父親に叱られた少年の、もぞもぞとした気持ちが伝わってくる、重松清氏作の名作教材。共感する場面や言葉を、自分の経験や思いを込めて発表する学習が行われていました。授業参観の場で、居並ぶ保護者の方の中には、冷や汗の出る場面もあったかもしれませんが、主人公と同じような経験を持つ子どもたちの、素直な思いが出ていたのかもしれない。「お父さんとゲームをしていて、二人そろってお母さんに叱られている」というほほえましい発言もありました。「わかっていることを言われるのが一番嫌」などという子どもらしい(?)論を展開したり、「自分ができるということを信じてもらえず、わかってくれない」等々、教材の少年と同世代・同じ悩みを持つ者として、授業に取り組んでいきました。

まだ未完成かもしれませんが、一人の人間として、子どもたちなりに悩み考えているようですね。

あれもこれも含めて我が子・プリンストン日本語学校の子どもたち。まとめて抱きかかえていきましょう。

この教材「カレーライス」は平成17年度版から登場。教材の中には、1年生(下)の「くじらぐも」のようにお父さん、お母さんも小学校時代に学んだものもありますよ。

一度教科書を訪ねてみてはいかがでしょうか？

